

商業（商品開発）

履修単位	2単位	学年	2年	学科	商業科	コース	地域貢献コース	区分	必修・ 選択
------	-----	----	----	----	-----	-----	---------	----	--

1 学習内容と学習目標

商品開発に関する知識と技術を習得する。顧客満足を実現することの重要性について理解するとともに、商品を企画・開発し、流通活動を行う能力と態度を身に付ける。
 学習とともに、地域貢献活動や販売活動、調査学習等の実習を行い、ビジネス活動における実践力を身に付ける。

2 教材等

教科書：商品開発（実教出版）
 補助教材：商品開発問題集（実教出版）

3 年間学習計画

学期	学習内容	月	学習のねらい	考查範囲
一 学 期	第1章 商品と商品開発 1節 商品の多様化	4	○商品の成り立ち、商品の範囲について理解する。 ○技術革新や経済の国際化、消費生活の変化や地球環境の保全など、商品を取り巻く状況の変化を理解する。	期 末 考 査
	2節 商品開発の意義と手順	5	○商品開発の意義や、商品のさまざまな特性を理解する。 ○商品開発に必要な手順の骨格を理解する。	
	第2章 商品の企画 1節 環境分析	6	○商品を取り巻く環境が商品開発とどのように関わるかを理解する。 ○商品開発の意思決定を行うための環境分析の方法を理解する。	
	2節 商品開発の意思決定と開発テーマの決定	7	○環境分析の結果に基づいた商品開発の意思決定と、何をどのように開発するかという開発テーマの決定について考察する。	
《課題・提出等》 ノート、宅習課題、実習の制作物、考查訂正 等				
《第1学期の評価方法》 定期考查、授業態度（出欠含む）、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
二 学 期	3節 市場調査	9	○商品開発における市場調査の役割、および市場調査の具体的な方法について理解する。	期 末 考 査
	4節 商品コンセプトの立案と商品企画書の作成	10	○商品開発を進める際の土台となる商品コンセプトの立案方法、および社内で商品化の承認を得るための商品企画書の作成方法、またプレゼンテーションの必要性について理解する。	
	第3章 商品の開発 1節 商品の仕様と詳細設計	11	○商品コンセプトを具体化し、商品に反映するための仕様書・詳細設計書の作成について理解する。	
	2節 試作品の作成と評価	12	○詳細設計に基づいた試作品作成の目的を理解する。 ○できあがった試作品を評価することの意義を理解する。	
《課題・提出等》 ノート、宅習課題、実習の制作物、考查訂正 等				
《第2学期の評価方法》 定期考查、授業態度（出欠含む）、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				

三 学 期	3節 開発商品のテスト	1	○市場での販売に先立って、消費者テストをはじめとした、社外も含めて行う開発商品のテスト方法について理解する。	学 年 末 考 査
	4節 事業計画の立案	2	○市場化が決まった商品について、生産計画・マーケティング計画・財務計画をまとめた事業計画の立案方法と、取引相手に向けた事業計画書の作成方法を理解する。	
		3		
《課題・提出等》 ノート、宅習課題、実習の制作物、考査訂正 等				
《第3学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は、後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し、年間の学習成績として評価する。				

4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	商品開発に関心を持って主体的に学び、実習において積極的で実践的な態度が身に付いたか。	授業態度・課題提出・実習への取組
思考・判断・表現	商品開発に関する学習成果を基に、実習への効果的な活用方法を考え表現する創造的な能力が身に付いたか。	実習への取組・授業態度・考査
技能	商品開発を立案・実行するための手法を正しく理解し、効果的で適切に活用することができたか。	実習への取組・考査
知識・理解	商品開発に関する基礎的な知識を身に付け、その意義や役割について理解しているか。	考査・実習への取組

5 授業を受ける際の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・科目「商品開発」は、2年次と3年次の継続履修である。 ・学習とともに、地域貢献活動や販売活動、調査学習等の実習を行う。 ・学期ごとの定期考査の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。 ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。
